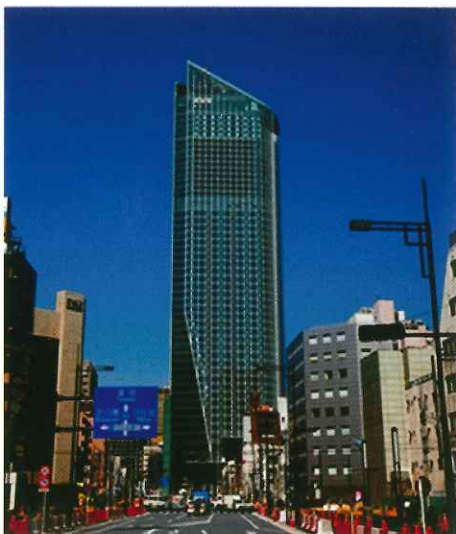




弓削昌義

森ビル株式会社
設計統括部 担当部長
日本建築美術工芸協会法人会員

森ビル株式会社設計統括部の弓削です。よろしくお願ひします。虎ノ門ヒルズは昨日からオープンし大変盛況なようです。



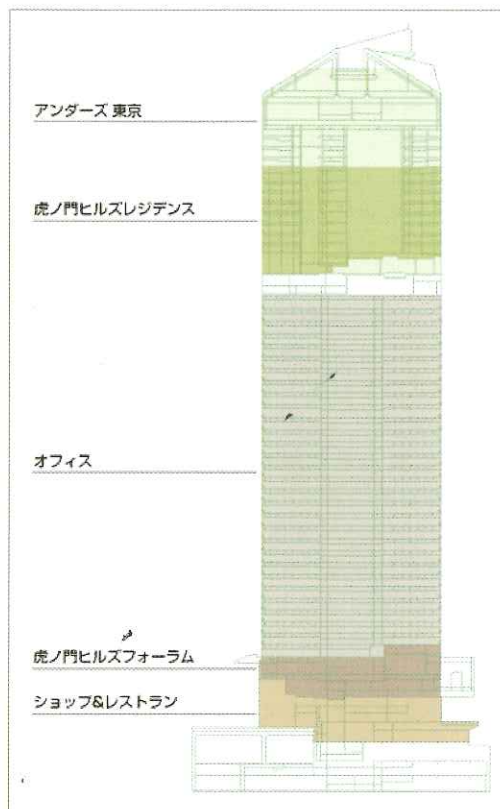
この建物が「虎の門ヒルズ」です。今日は虎ノ門ヒルズについてお話ししますが、建物だけではなく特徴的なものがあります。環状2号線についてのお話。そして建物自身。それと中にいくつかアートを設置していますので、それについてお話をさせていただきます。

事業名称は、環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市街地再開発事業Ⅲ街区という長い名前です。環状2号線という道路は東京都が行った事業ですが、その環状2号線の真ん中ぐらにあるのが虎ノ門ヒルズです。この開発をするときに従来であれば地権者が立ち退いたあとにできるわけですが、今回は権利を持っている方たちに居続けていただくように3個の街区で権利者を集約しました。今回最後のⅢ街区が虎ノ門ヒルズに当たります。Ⅲ街区ですから、Ⅰ街区、Ⅱ街区は、すでに出来上がっています。環状2号線は外堀通りに繋がって、新橋から豊洲の方までほぼ出来上がる場所です。本来はここで環状2号線の都市計画は終わっていたのですが、もう少し先を延ばして豊洲の方まで行き、オリンピックに向けてもうすぐ完成するということです。

この環状2号線が将来2020年にはオリンピック道路として使われ、東京の玄関口となる道路になるかと思ひます。この環状2号線は今年3月に開通しました。

特徴的なのは、この道路は新橋から虎ノ門ヒルズまでは地上部分の道路もありますが、本線は地下を通過しています。新橋方面からトンネルでつながってきて、この虎ノ門ヒルズで地上部に顔を出して、あとは地上部分に出るという道です。この道路の真ん中にこの虎ノ門ヒルズは建っていて建物の下に道路が走っているという計画です。

虎ノ門ヒルズの建物の概要を説明させていただきます。



52階建ての建物で高さが247m。東京都で2番目に高い建物ですが、最高高さが255.5mで、実は一番高いところの高さで言うと東京で一番高い建物になります。この建物は複合用途です。森ビルの理念として、大きな複雑な用途のものを1棟に集約して高い建物を造り、そのことで下のほうを広く、広場、風致、そして緑にして空間として豊かな空間をつくるという考え方で進んでいます。上のほうから164室のホテルがあります。その下の階に10層の住宅、その下にはオフィス、低層周りに店舗があり、その上にカンファレンスがあります。地下にはトンネルが通っているという形です。建物の本体の設計は日本設計で行いました。

内装については、用途によって何人かのデザイナーを選定し、コラボレーションしています。ホテルについては tonychi、SIMPLICITYの緒方さん、一部植栽について PLACEMEDIAの宮城さんに。住宅の共用部にはホ

テルと同じくtonychi。低層周りではカンファレンスあるいは共用部で乃村工芸A.N.D.の小坂 竜さん。アトリウムのデザインはNAO Taniyama& Associatesさん。それからCasappo& Associatesの植木莞爾さんには、オフィスロビーと共用部についてデザインを。

照明計画では、内原さんが外装の照明、低層周り、外構周りのデザインして頂きました。

用途ごとのご説明をさせていただきます。上のホテルですが、アンダーズという名称です。これはハイアットの一つのブランドで日本では初進出のブランドです。パーソナルというものを題材にして、日本のほかその土地、土地の文化や個性を生かすという形で、ニューヨークあるいは上海にございます。非常にパーソナルなお迎えするというデザインでできています。

中間階にはプールもあります。非常に大きなプロットですが、客室階は当然奥行きがあるのでドーナツ状にぐるりと配して、真ん中は吹き抜けがあります。特徴的なのは、超高層ビルの上部に設けているので、シャトルエレベーターで51階のロビーに上がります。直接ロビーに上がっていただいて、ここに受付があり、レストランや宴会施設があります。そこからローカルエレベーターに乗り換えていただいて下の客室階に下がっていただいて行くというシステムです。51階のロビーの上の52階に屋上テラス階があります。一部チャペルや宴会施設がありますが、ほぼ外部になります。まったくの外部である部分もありますし、一応雨風がしのげる外部もあります。こちらのほうではバーもあります。室内のバー、あるいは外のバーもありますので、お気軽に寄っていただければ、ここで飲んで外を眺めることができるという場所です。

住宅がその下に10層ほどあり、全部で172戸、分譲と賃貸があります。地権者の方が30戸ほどあるので140とすると、その半分70戸ぐらいが賃貸で70戸ぐらいが分譲という形です。ここも高層階の上ですので、ぐるり周りに住戸が配して中はボイドです。

オフィスは30層あります。3バンクで1フロア1000坪。3000平米少しです。30層あります。森ビルでは一般的、通常仕様ですが、それぞれ最先端の仕様、スペックです。基準階で2.8m、0Aフロアで150mm。特殊階では3m、300mmの0Aフロアを持っている。このようなフロア、無柱空間のオフィスがぐるり全周回っている形です。特徴的なのはエレベーターです。森ビルでは、六本木ヒルズもそうですが、ダブルデッキエレベーターというものを使っています。超高層で多くの人を運ぶため、通常のエレベーターはシャフトの中にかご一つですが、二つの連結したかごを使って倍の人数を運ぶシステムです。二つのかごを伸縮し階高調整することで階高が違って運べるというシステム、「スーパーダブルデッキエレベーター」と呼んでいます。それと4階、5階にカンファレンス。ホール、大ホール、中ホールと

三つのホールを持っているカンファレンスを設けています。

それと3層吹き抜けの商業施設があります。これが先ほど申しました環状2号線のちょうど上部になります。下のほうから上のほうに少し階段状に上がっていく空間です。このアトリウムに商業を張り付けているという形です。約26店舗入っています。すでに昨日からオープンしています。

それと照明計画です。外装もライトアップをしています。環状2号線ということもあって、環というテーマ、それと超高層の頂というテーマで、これは変化をするような動きのあるライトアップをしています。見ていただいたときに少し動きがありますので、頂部の動きとトンネルの換気塔が呼応しているライトアップもしています。近くにお寄りの節はその辺のライトアップも楽しんでいただけたらと思います。

これから少しアートについてご紹介したいと思います。この建物の内外にいくつかアートを配しています。超高層の森タワーの外にスプーン状の広場があります。



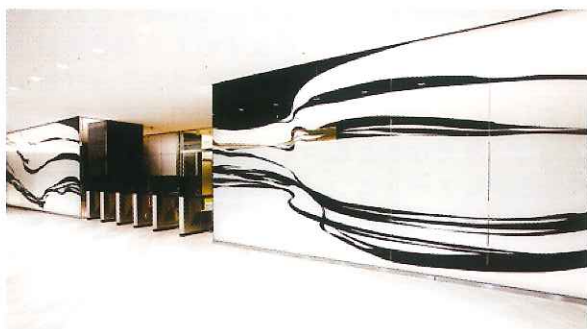
芝生の広場ですが、ここにジャウメ・ブレンサさんの彫刻を置きます。実はこれだけまでできていません。これは今スペインで作っている最中で、今年11月～12月ぐらいに設置する予定です。

オフィスのエントランスロビーに二つあります。左側の壁面のものがジャン・ワンさんの作品、右側、オフィスのエントランス、セキュリティの中を結ぶところにサン・クワックさんの壁面があります。



ジャン・ワン

これがジャン・ワンさんの彫刻で、ステンレスで石をかたどっているものです。実際には非常にペラペラのステンレスの板で石ができています。これは実際に制作過程を見せていただきましたが、上のほうから大きな岩を叩き落として、散らばった石をそのまま場所を記憶して、それと同じ石にステンレスを叩きつけて、この形をかたどっているものです。ですからこの辺にきつと落ちたのだと思いますが、そこから散らばっている石が表現されています。そういったステンレスで自然の石の形を作っているというのが特徴の作家です。



サン・クワック

それからエントランスホールとセキュリティの中を分けている壁面に、ガラスの壁面。これは内外から見えるガラスの壁面です。その中にサン・クワックさんのデザインしたアートを彫り込んで色を入れて挟み込んだガラスを3枚設けています。



神谷徹

それとオフィスのエレベーターロビーの突き当たりに、神谷徹さんに作っていただいたキャンバスに描かれたグラデーションのものが展示してあります。

それから1階の車寄せに、内海さんに描いていただいた絵画。長さはトータルで17mぐらいあると思いますが、それを5分割して作品を展示しています。四季を表しています。点描というか、一つのは、はけで500円玉ぐらいのもので押されているような形で、春から冬まで表したものを車寄せに合わせて展示しています。



内海聖史

実は、この虎ノ門ヒルズができていた所は、かつて森ビルの三つのビルがありました。17森ビルという、当時は17階建ての超高層でしたがそれを壊して造っているの、この建物は森ビルにとっては再々開発という事業です。河合紀さんは5年ほど前にお亡くなりになりましたが、この河合紀さんの陶板は、17森ビルができたときに17森ビルのエントランスホールに作っていただいた陶板を解体する際、そのまま保存し、エレベーターホールに再現させていただいているというものです。それからレジデンスのロビーに安田さんの絵画。それとレジデンスの中には、ほかに松本陽子さん。これは唯一森ビルが所有していたものですが、それ以外のものは全て今回描いていただいた新作です。こういったものを中に設けています。

それから52階、ホテルの最上階の外部になりますが、そこにジャン＝ミシェル・オトニエルさんのハートマークのオブジェを展示しています。52階はホテルの披露宴を行ったり、チャペルがあるので、この前に立っていただいてハートの前で写真を撮ってもらうのに適当かなということで、急遽、竣工の前日に設置が完了したというものです。一時期、六本木ヒルズでも、このような形のものを展示していたこともありました。

簡単ではございますが、虎ノ門ヒルズの概要説明でした。近くにお寄りの節は、一度実際に立ち寄っていただいて、ご自分の目で見ていただければ幸いです。ありがとうございました。(拍手)

